

はリンク

はWAMNETの事業者情報にリンク

事業所名 グループホーム よしい川

日付 平成19年12月3日
特定非営利活動法人

評価機関名 ライフサポート

評価調査員 在宅介護経験15年

評価調査員 ケアセンター介護支援専門員経験5年

自主評価結果を見る

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)

ホームの駐車場に車を止めると、犬の鳴き声がある。ビーグル犬の『よっしー』が尾をちぎれんばかりに振って迎えてくれる。彼はホーム開設時に飼い主と一緒にホームにやって来た。三年経った今、彼の御主人はもうホームにいないが、古参の彼はホームの一員として共に生活している。陽気な彼は犬付き合いも人付き合いも良い。近所の人は彼を目当てに散歩の途中ホームに立ち寄り、心の通った交流を深めていくそうだ。ホームは西大寺地区、吉井川近くに位置し、母体法人が市の要請を受け、街作り条例に基づき、協働して活性化に努めている。“結びの杜”の施設の一つとして、保健福祉研修センターや母体法人の厚生専門学院と共につくられた。周辺に人家はなく、まるで企業団地のような広い敷地の中にある。併設の三世代交流センターやデイサービスセンターに加え、最近有料老人ホームも新たにオープンした。三世代交流センターでは、毎月母体法人から講師が来て、地域住民に向けての勉強会や相談会をしたり、専門学校から学生や教員が来て、触れ合い遊びや子育てセミナーを開催している。子育て支援や地域交流の場とグループホームを上手く組み合わせた新しい試みが始まっている。地域の方は、ホームのリビング前の駐車場に車を止めるので、利用者にもよく判る。ホーム裏の広場は子育て支援の触れ合いテラスだ。ホームの畑は、ふれあい菜園として開放され、草取り等をボランティアの人に助けて貰える。子供達の遊ぶ様子が見える。訪れた人々が、ついでにホームに立ち寄る事もある。隣接の専門学院の学院際には、学生ボランティアが来て利用者達に付き添い、一緒に展示を見たり模擬店巡りを楽しんだそうだ。福祉・介護の道を志す学生達は、ホームでパート職員としてアルバイトしたりしている。ホームにとってしっかりした認識を持った若い労力は頼もしい助人であり、学生にとっても、現場での経験は活きた学習となるだろう。何かあれば母体法人内で助け合えるのも心強い。人員配置や医療面も連携がとれているので安心だ。単独のグループホームではなく、一般のグループホームの内容に加えて、先進的・専門的要素を取り入れて運営しているのが、このホームの大きな特徴だ。認知症になっても、地域や孫子世代と交流し共存する壮大な計画の一環を担うこのホームは、未来のグループホームの一つの指標となるだろう。ホームの犬よっしー君と一緒に見守っていきたい。

特に改善の余地があると思われる点

介護計画を作成するプロセスをきちっと検討して全職員が取り組んでいるが、利用者一人ひとりの生活行動をしっかりと見て、支援すべき項目に対してもう少しその原因を細かく分析をして、何を支援すべきか具体的・客観的な代表的な介護項目と目標を掲げて介護すると、もっと適切な支援が出来るのではないかと考える。

職員配置の方針は法人の定めるところであろうが、管理者一人が常勤職員で、他は非常勤(パート)職員である。全職員が全員頑張っている様子はよく理解出来るが、ホームのケアやサービスの質の向上に対する企画・計画や職員管理は一人の管理者に任せるとは少し負担過剰になることを心配する。複数の常勤体制も必要ではないかと思った。

2. 評価結果 (詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…母体法人は教育・研修制度がしっかり確立をしていて、同一法人内施設で経験を積んだ後に、ホームに法人内移動で職員を配置している。介護・福祉に対する考え方は教育を受け、問題なしと判断した。理念に掲げた事項の一つひとつ確実に実行する目標を掲げている。</p> <p>2、全体的に見て…「自立」と「尊厳」を基本理念として“もてなし”“こころよさ”“きぼう”をサービスの三原則として掲げている。「グループホームは利用者にとって生活の場＝家なので、自分もここにいると落ち着くと思える環境づくりをしていきたい。家族にとって大事な方をお預かりしているのだから、こまめに情報提供をして安心して貰いたい。笑顔が出ると職員も嬉しい。健康管理に気をつけて、共に笑顔で日々過ごしたい」と管理者は言う。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…特に改善項目なく、出来ていると判断している。</p> <p>2、全体的に見て…木の温もり溢れる玄関の格子戸、車椅子でも入れる大きな浴室には檜の風呂、和紙で包んだ優しい照明と昔懐かしい拘りの造りだ。四方から近寄って使えるよう中央に配置した対面式調理台、掘り炬燵のある一段高い畳の間、広いリビングには食卓、テレビを囲んで長ソファにベンチ椅子と、全体にゆったりとした空間だ。リビング窓際のソファが好きでいつもそこに座っている人、長い廊下を自主的に往復して自走リハビリに励む人、廊下の突き当たりの椅子に腰掛けて独りのんびりする人、庭の犬に語りかける人等、お気に入りの居場所があちこちにある。リビングも居室も掃き出し窓で、外がよく見え、ウッドデッキの濡れ縁に出られるのも嬉しい。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人ですることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせて入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…改善項目を指摘していない。一つひとつの評価項目は常に改善していこうという気持ちを持っていると確認した。</p> <p>2、全体的に見て…入所して1ヶ月のAさんは帰宅願望が強かった。「ここはどこですか？私、帰りたいんですけど、Bさんが優しく「まあ居られ」と言った。「いいんですか？」Bさんと話すようになってAさんは段々落ち着いてきたそうだ。昼食のお寿司を仲良く盛り分け、のり・錦糸玉子・蟹・さやえんどうをわいわい賑やかに話しながら乗せていく輪の中にAさんも入っている。「ここは皆さん良くしてくれて、本当に居心地が良い。感謝しています」と話すAさんに「この人、良い人よ」とBさんが言う。「どうでもええ人じゃ」とAさんが返して皆で大笑い。男性3人、女性6人の利用者達は、それぞれに相手を気遣い分かり合っている。Bさんは、ホームの発展と職員・利用者・園長の健康を祈りながらする写経を、三年間毎日続けているそうだ。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…地域住民との交流を促進し、地域との連携を図りたいと考えている。住居地から離れ、関連施設の中に立地しているため、立地条件的に不利で難しい面はある。しかし、地域の一人として、地域の人達と交流する事は有意義で大切だと思う。その波及効果も大きい。この地域での法人全体の地域との交流の中で、是非取り組んでいって欲しい。</p> <p>2、全体的に見て…古くから福祉・介護に携わってきた母体法人の全面的バックアップはこのホームの大きな強みだ。三世代交流センター・デイサービスセンター・厚生専門学院・介護付き有料老人ホームに加えて、近く訪問看護ステーションを立ち上げ、リハビリガーデンも建設予定だと聞いた。利用者の安心と楽しみが又増える。市と連携を図りつつ、母体法人と共に今後も高い理念に基づく認知症ケアを維持し、認知症の事なら、あそこで聞けば良いと地域の人からも頼りにされるホームになる事を期待する。</p>		